

# 農学部学習相談室（ピアサポート） 学生サポーターの体験談 ～第3号～

研究室ってどんなところなのでしょう？

今回は、研究室に所属している学生サポーターさんたちによる、

## 「研究室生活」

をご紹介します。

後輩の皆さんに向けたアドバイスも必読です！

1・2年生の皆さん、ぜひ参考にしてみてください。



### ★研究の取り組み方と充実した研究室生活★

ほとんどの人は研究室に所属して、卒業論文や修士論文を書くための実験に取り組むと思います。しかし、研究室生活では実験だけをするのではなく、自分の研究に関する論文を読み、自身の実験の結果を自分なりに考察していく作業が重要になります。皆さんが研究室に配属されて研究を始める際には、ぜひ実験だけでなく論文を読んでテーマに関する自分なりの考えを持てるように取り組んでほしいと思います。

さて、ここからはテーマに関する自分なりの考えを深めるため、私が考える“論文を読むことと同じくらい重要なこと”をお伝えしたいと思います。それは研究室の人とのコミュニケーションを積極的に取ること、です。自身の研究を人と話すことによって考えが深まり、新たな発見や考察を見出すことができます。コミュニケーションの取り方は旅行などのイベントや飲み会、普段の雑談など、どんな方法でも良いと思います。研究室選びに悩んでいる皆さんは、研究内容に興味を持てるかも重要ですが、安心して自分の研究を相談したり、雑談をできたりするような、自分が安心してコミュニケーションを取れる環境が整っている研究室を選ぶと、充実した研究室生活を送れると思います。皆さんが充実した大学・研究室生活を送れるよう祈っています！

(生物生産科学コース M1)

### ★研究室を選ぶ時に考えること★

研究室を選ぶ際には、「自分の目標に沿うかどうか」を考えることをお勧めします。研究活動と一言で言っても、実験作法や分析機器の手法、研究テーマ決め、手法の検討、サンプリング、実験、結果や考察をまとめる、論文を読む、発表するなどがあります。そのため、得られる力は、実験の基礎、その分野の知見、野外調査の仕方、科学論文を読む力、科学的・論理的に考察する力、文献を調べる力、まとめる力、発表する力など多岐にわたります。その中でも、どこを重点的に学ぶかは、研究室のスケジュールや先生によって異なることがあります。それが現れるポイントは、文献紹介の頻度や発表会の頻度、実験の頻度、考察やまとめ方に先生の補助がどれだけ頂けるのか、研究分野の社会的な役割、などがあります。研究生活に慣れれば、自分で必要なことに時間を充てることもしやすと思いますが、4年生のうちには研究室で決められた方針に従うことが多いと思います。研究の時期は限られているので、是非自分の叶えたい目標を探し、叶えることができそうかどうかを考えてみてください！

(自然環境資源コース M1)

## ★私の研究室生活★

理系、農学の研究というと、ラボにこもって植物や動物をみたり、顕微鏡を覗いたり、というイメージをする人が多いかと思います。もちろん、そういった研究をしている人が多いとは思いますが、私は地球社会学プログラムという比較的人文系のコースに所属しているため、皆さんのイメージとは少し異なる生活をしているかもしれません。今日は、そんな私の研究室生活をお話したいと思います。

ある地域でもう行われていない作物の栽培を、歴史的に分析・復元することを目標としているため、史料分析とかつて栽培をしていた人からの聞き取りが研究の中心となります。後期は授業は一コマしかとっていないため、聞き取りのため調査地へずっと行っている、なんてこともざらです（幸い私は地元を調査地に選んだため、実家に帰省しているだけなのですが）。史料分析は、市が編纂した市の歴史をまとめた、市史などに既に収録されているものを参考にするときもあれば、かつて栽培技術研究を行っていた方の生家に伺い写真で記録させてもらったり、本をお借りしたりと、足を使って稼ぐこともあります。

研究室にいるときは、史料や先行研究を読んでいるか、聞き取りで得たデータをまとめているか、という感じです。ゼミは週一回あり、3週間に一回ほど進捗を発表しています。

(地球社会学コース M1)

## ★研究室における時間の問題★

3年生以降の方々はほぼ言わずもがな研究室に所属されている方が多いでしょうが、1年生や2年生の方々も研究室配属が気になる方もいるかと思われます。そこで今回は研究室での過ごし方、特に研究室の過ごし方に多大なる影響を与える「時間」についてのお話をしたいと思います。さて、研究室によっては「コアタイム」というものが存在するところがあるかもしれません。このコアタイムというのは一般的には「研究室で研究するために割り当てられた時間」のことであり、この時間は研究室で研究に励むことになるでしょう。また、3-4年生ぐらいになると取得した単位数の関係上、空きコマが出てくることが考えられますが、ゼミや実験などでこれまた研究室に行くことになると思われます。そしてここで問題となってくるのが、取得し忘れた単位の講義、受講したい講義、バイト、インターン等を含む就活などの時間と研究室での研究時間とのバッティングです。もちろん、上手く時間をやり繰りして両立させることも可能ではありますが、どちらかを止めなければならないことは往々にしてあるでしょう。そのため、研究室を選ぶ際や研究室で過ごす際は、研究室との「時間」の兼ね合いに注意してほしいと思います。

(地域生態システム学科 B4)

## ～今後の学習相談室(ピアサポート)の開室予定～

具体的な勉強方法や期末試験対策のヒント等の相談にも乗ります。

※ 今後の開室日 : 12/13、12/20、1/10、1/17

※ 開室時間 : 12:00-13:00

※ 場所 : **第1講義棟17番教室** (府中キャンパス)



保健管理センターホームページ  
(学習相談室)



学習相談室ホームページ



東京農工大学 特別修学支援室 shugakushien@m2.tuat.ac.jp